科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	学年
110034	XXX1110034	2	前期	国際学部国際文化学科	基礎	選択	１年
				国際学部国際文化学科英語集中コース	基礎	選択	１年
授業科目	担当教員			情報文化学部情報文化学科	基礎	選択	３年
倫理学	阿部　ふく子			情報文化学部情報システム学科経営コース(26 年度以降)	基礎	選択	１年
				情報文化学部情報システム学科情報コース(26 年度以降)	基礎	選択	１年
				情報文化学部情報システム学科経営コース(25 年度)	基礎	選択	３年
				情報文化学部情報システム学科情報コース(25 年度)	基礎	選択	３年
				情報文化学部情報システム学科(24 年度以前)	基礎	選択	３年

授業目的

この講義では、伝統的な倫理思想に加え、応用倫理学のうち生命倫理・環境倫理という二つの分野をとりあげ、倫理学の基本的な問題関心・思考方法を通観します。「倫理」という漢語自体は、「なかま（倫）」の「ことわり（理）」という意味を表しています。共同体のなかに生きる人間の理について考えてゆく以上、倫理的な諸問題を真摯に受けとめた上で自らの考えを深め、他の人々の意見にも耳を傾けるという開かれた知的態度を身につけることが求められます。講義をする側も学生諸君との対話を重視したいと思います。毎回、その日に扱った内容を各人で主体的・実践的に考えてもらうための簡単な質問を出し、翌週にその中から一部を紹介して適宜コメントを加えます。学生諸君には知識を吸収するだけではなく、同年代の声にも耳を傾け、多様な価値観に触れながら少しずつ倫理的思考の幅を広げていって欲しいと思います。

各回毎の授業内容

第１回
【授】基本概念①：倫理（学）とは何か
【前・後】配布資料。講義にて文献を指示（毎回同様）

第２回
【授】基本概念②：義務論（カント）

第３回
【授】基本概念③：功利主義（ベンサム、ミル）

第４回
【授】基本概念④：日本の倫理思想

第５回
【授】生命倫理①：QOL 倫理と SOL 倫理

第６回
【授】生命倫理②：安楽死問題

第７回
【授】生命倫理③：出生前診断および障害新生児の治療停止問題

第８回
【授】生命倫理④：脳死・臓器移植問題

第９回
【授】生命倫理⑤：医療資源の配分問題

第１０回
【授】生命倫理⑥：エンハンスメントと優生思想

第１１回
【授】環境倫理①：環境倫理学の理念

第１２回
【授】環境倫理②：持続可能性概念と世代間倫理

第１３回
【授】環境倫理③：景観論

第１４回
【授】環境倫理④：動物の権利

第１５回
【授】まとめ

第１６回
【授】試験
【前・後】講義にて指示

成績評価方法

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験							70
小テスト・授業内レポート							30
宿題・授業外レポート							
授業態度・授業への参加							
成果発表（口頭・実技）							
演習							
その他							

毎回課されるコメントペーパー（30%）、および記述式の期末試験（70%）による。
コメントペーパーは各回の講義内容に関連する簡単な質問に答えてもらう方式です。提出回数ではなく内容で評価します。

教科書参考書

・取り扱う分野が多岐にわたるため、毎回プリントを配布します。
・参考文献は講義で随時紹介します。

受講に当たっての留意事項

・毎回の講義で配布した資料にはすべて目を通すこと。
・講義時に紹介する参考文献等にも積極的に手を伸ばし、自主的に学習を進めることが望ましい。

学習到達目標

・倫理学の基本的な用語、主要な問い、議論を理解し説明することができる。
・上記の理解を、個人的・日常的な所感や出来事、社会や政治の現実を考えるなかで柔軟に適用し、単なるエゴイズムに依らない理性的な倫理的判断力を身につける。

JABEE

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習